

館名	東広島市小谷地域センター
事業名	通学合宿(2泊3日)
趣旨	<p>○家庭、学校で日頃習ったことを実践する場を提供する。</p> <p>○宿泊施設ではない地域センターに於いて、団体生活を送るための創意工夫によって自主的な行動を起こさせるチャンスを与える。</p> <p>○異学年(4, 5, 6年生)との団体生活の中でコミュニケーションと自立の第一歩を体験することで生活力を身に付ける。</p>
特徴	<p>○異学年との団体生活は協力と創意工夫する事で自主的に行動を起こすことができる。また、活動を通して人間関係づくりの場とする。</p> <p>○規律ある団体生活を身に付けるため、全員が合宿に向けた意思疎通を図るテーマを設定し自主的、積極的に各自が目的に向かって活動する。</p> <p>○宿泊設備が十分整っていない地域センターを利用するため、普段体験できないサバイバル的な体験により不便さを克服して楽しむことができる。</p>
事業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>初日の開所式 (合宿のテーマ、団体生活のルールなどの説明)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>my コップと箸づくり (事前にPTAによる下準備)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夕食風景 (学校の担任の先生方と一緒に食事する)</p> </div> </div>
活動実績	<p><b>【実施期間】</b></p> <p>《初日 平成 29 年 10 月 12 日(木)》</p> <p>午後 3 時 30 分 開所式, my コップと箸づくり, 班ごとのミーティング, 夕食, ナイトウォーキング, 自由時間(宿題), 入浴, その日の反省会,</p> <p>午後 10 時 消灯, 就寝</p> <p>《2日目 平成 29 年 10 月 13 日(金)》</p> <p>午前 5 時 30 分 起床, 掃除</p> <p>午前 6 時 朝食準備, 朝食, 登校準備</p> <p>午前 7 時 登校(P T A の方安全管理者として学校まで付添)</p> <p>午後 4 時 30 分 学校から帰所</p> <p>午後 5 時 30 分 夕食準備, 夕食</p> <p>午後 6 時 30 分 キャンプファイヤー 入浴, 宿題とその日の反省会</p> <p>午後 10 時 消灯, 就寝</p> <p>《3日目 平成 29 年 10 月 14 日(土)》</p> <p>午前 6 時 起床, 掃除</p> <p>午前 6 時 30 分 ラジオ体操</p> <p>午前 6 時 45 分 朝食準備, 朝食</p> <p>午前 8 時 大丸目山登山</p> <p>午前 11 時 30 分 昼食</p> <p>午前 12 時 30 分 片づけ, 清掃</p> <p>午後 1 時 45 分 閉所式 (参加努力賞の表彰, 班毎にチェックリストの報告, 総評) 解散</p> <p>※別紙資料添付【H29/通学合宿 - 小谷元気ッズ!わくわく!わんぱくスクール】スケジュール</p>

	<p><b>【実施場所】</b> 東広島市高屋町小谷 5560 小谷地域センター</p> <p><b>【実施団体と協力体制】</b> ○小谷小学校(校長, 教頭, 担任の先生方), 小谷小学校PTA(59名) ○地元自治会(小谷小学校区市民協働まちづくり協議会) 女性部会(21名) 環境部会(6名) おやじの会(5名) 文化・青少年育成部会(6名) 広大生(4名) センター職員(2名) 合計 103名</p> <p><b>【対象者及び参加者数】</b> ○小谷小学校高学年の参加希望者 (4年生男女 - 12名 5年生男女 - 22名 6年生男女 17名)</p>
活動実績	<p><b>【事業費】</b> ○参加費を徴収 3,500円/1人当たり×51名=178,500円 ○まちづくり協議会 20,000円助成金(青少年育成費として) 合計 198,500円 ○収支決算額 186,538円</p> <p><b>【参加者の声】</b> ○日頃体験できないことを楽しみながら多くのことを学んだ(my コップと箸づくり, ナイトウォーキング, 大学生さんとのキャンプファイヤー, 仮設風呂の入浴, 異学年とのザコ寝など) ○2泊3日の団体生活は, ルールを自覚し仲良く規律正しく行動を起こすことでスケジュール通りに進んだ。一人が遅れると全員に迷惑をかけることになり一つ一つの行動に自覚を持つことができた。 ○合宿では規律を守るために「挨拶, 返事, 言葉使い, 話を聞く, 協力, 仲良く, ルールを守る」ことをいつも心掛けて行動に移すことが出来た。</p> <p><b>【自由記入】</b> (通学合宿の実施に当たって) ○企画～準備委員会の立ち上げと打合せ～実施～実施報告～反省会を含む流れは時間も要し, きめ細かい準備が必要であり協力体制づくりが必要。 ○地域センター職員は2名では, 通学合宿の実施は難しい。よって, 日頃から地域との関わりは必要不可欠である。コミュニケーションを丁寧におこない, 何事にも積極的に行動を起こすことから始め協力体制と信頼関係を築き上げることにしている。 ○全ての面に於いて関係者への気遣い, 心遣い, 挨拶, 感謝の気持ちを忘れず交流することが最も大切である。 ○事前に児童の健康管理票及び承諾書の提出を義務づけている(規定様式)</p>
成果と課題	<p><b>【成果】</b> ○参加者で班編成とリーダーの選任や利用する部屋に合宿テーマを掲示して毎日全員で確認することによって自覚と自主性, 行動力を促し目標に向かって協力体制づくりができた。 ○2泊3日の短期間での合宿は, よい思い出づくりや団体生活のルールについて考えることができ, 望ましい人間関係づくりができた。大人になっても交流の絆を深めてもらいたい。 ○積極的な意見交流と協力, スケジュールに合わせた自主的な行動, 考える力などが養われた。 ○体験に勝ものはない。学んだことはしっかりと身に付き忘れることはないと思う。</p> <p><b>【課題】</b> ○スケジュールに合わせ, 班長の指示によって行動できるよう班長自身が役目役割内容を理解する。個人差はあるが性格的に取り組む心構えに格差があった。</p>

<p>成 果 と 課 題</p>	<p>○班ごとに3日間のチェックリスト一覧表を渡し、一日が終了する時間にその日の反省時間を設けその結果を記載するようにしたが、リーダーの個人差により出来る、出来ないと明暗がはっきりした。</p> <p>○所持品には名前、忘れ物、毎年繰り返し伝えるが必ず最後に不明の物と忘れ物がある。</p> <p><b>【運営した感想】</b></p> <p><b>(工夫した事)</b></p> <p>○通学合宿に対するテーマを設定</p> <p>○テーマに対するチェックリスト一覧表の作成(班ごとに自己管理する) 今後の反省材料とする。</p> <p>○閉所式には班長からテーマとチェックリストに対する成果を発表させる。</p> <p>○参加への意欲を持たせるため4年生～6年生を通じて3年間、自主的に参加した者には「参加努力賞」の授与をすることを決める(29年度からスタートする6名を表彰する)</p> <p>(相談したこと)</p> <p>○今年で10回目の通学合宿ですが、平成27年までは全て「オンブにダッコ」であった。これでは合宿の意味が無く、合宿テーマを標示、班編成、リーダーの選任、毎日の役割分担、反省時間と成果のまとめ等について、主体的に活動するような流れを工夫した。</p> <p>○実施関係団体等により、終了後の収支決算書、問題点と課題等の反省会を設けた。</p> <p>○結果報告書を作成し送付した。- まちづくり協議会(応援部会) 小学校 東広島市生涯学習課</p> <p><b>(今後の希望若しくは問題点)</b></p> <p>○地域センターは限られたスペースであり、衛生面の設備不足(洗面、トイレなど)なので児童の参加人数が限られ最大でも50名迄、受け入れるスペースがない。</p> <p>○実施日は学校の行事予定もあり地域センターサイドで日程が組めない。年によっては秋雨前線と重なり外の行事が出来ない。(室内行事では余分な経費がかさむ)</p> <p>○キャンプファイヤーには計画から実行まで広島大学生に応援依頼している。学生さんの送迎と謝金などの課題がある。</p> <p>○小谷地域センターの伝統的な事業であり、問題点、課題などは反省会で意見を述べ合って少しずつ改善レベルアップに繋げている。</p>
<p>連絡先</p>	<p>○小谷地域センター</p> <p>〒739-2121 東広島市高屋町小谷 5560</p> <p>電話、ファクシミリ 082-434-3758</p> <p>電子メール Kodani - k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp</p>